



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

尾張旭市の 赤い羽根共同募金



▲昨年の街頭募金運動

令和元年度
赤い羽根共同募金目標額
6,500,000円

- 一般募金 …………… 5,700,000円
- (内テーマ設定型募金 …… 100,000円)
- 歳末募金 …………… 800,000円



赤い羽根共同募金は、社会福祉法第112条の規定に基づいて、毎年1回、厚生労働大臣の定める期間内に行う寄付金の募集で、地域福祉の推進を図るための財源となります。尾張旭市共同募金委員会(以下「委員会」という。)では、昨年度から募集期間を3か月延長し、今年度は10月1日(火)から令和2年3月31日(火)までの6か月間実施します。

共同募金は、募金された地域の福祉事業に活用される、子どもから高齢者まで、さまざまな地域住民が参加できる最も身近な社会貢献の仕組みで、一人ひとりの善意によって「じぶんの町を良くするしくみ。」(中央共同募金会標語)につながります。

委員会では、運動期間初日の10月1日(火)から順次、市内の各スーパーで街頭募金を実施するほか、10月12日(土)、13日(日)の市民祭会場でも行います。また、令和2年1月1日(水・祝)から3月31日(火)は、「障がいや疾患などにより移動が困難な方の外出手段支援」をテーマとして、社会福祉協議会が行う車いす貸出事業の充実を図るための募金運動を行います。ぜひ、皆さんのあたたかい善意をお寄せください。なお、委員会事務局(市社会福祉協議会内)及び市役所にも募金箱を設置していますのでご協力をお願いします。



contents (主な項目)

- 赤い羽根共同募金
- 第71回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
- あさひ支えあいサロン開設助成事業
- あさひ生活応援サポーター養成講座
- ボランティアセンターからのお知らせ
- 知るサポだよりNo.18
- 日常生活自立支援事業
- 家庭介護教室
- ボランティア給食サービス利用者募集
- フードドライブ事業
- 寄付者一覧

質問1 『じぶんの町を良くするしくみ。』ってどういうこと？

市内で寄付していただいた共同募金は、その募金をした市内の社会福祉協議会に約7割が配分され、様々な地域福祉事業に活かされることから、この標語がつけられています。ぜひ市内での募金をお願いします。

質問2 共同募金はどのように行われているの？

【戸別募金】

市内の連合自治会、自治会、町内会を通じて、各世帯に赤い羽根と募金封筒を配布してお願いします。



【街頭募金】

市内のスーパー、市民祭の会場、校区のふれあい運動会などの行催事の折に、地域のボランティアのかたなどにご協力いただいて実施します。

【法人募金】

市内の企業や事業所に寄付を呼

びかけています。

【職域募金】

市内の企業、団体、官公庁などの職場で、お勤めのかたにお願いします。

【学校募金】

市内の小学校の児童会や、中学校、高等学校の生徒会を通じて児童・生徒にお願いします。



質問3 共同募金はどのようなことに使われているの？

【地域福祉推進のために】

校区社会福祉推進協議会の活動支援／福祉のまちづくり推進助成事業

【高齢者のために】

高齢者趣味の作品展への協賛やシニアクラブ活動支援／ボランティア給食サービス事業／敬老肖像写真の贈呈事業／ふれあいいきいきサロンの活動支援

【障がいのあるかたのために】

点訳・音訳・要約筆記を行う団体の支援／行事の支援／施設への支援／おもちゃ図書館の運営

【子どもたちのために】

青少年健全育成団体の活動支援

／社会を明るくする運動への支援
／赤い羽根こころの文庫の設置
／児童養護施設への支援
／民間学童クラブの活動支援
／子育てサロンの活動支援

【歳末たすけあいに】

要保護・準要保護家庭児童・生徒への支援
／養護施設入所児童・生徒への支援



【共同募金運動推進のために】

共同募金用資材の購入費／PR活動費

【全地域の福祉推進のために】

社会福祉施設の整備費／社会福祉団体の事業費／募金運動推進活動費など

共同募金の寄付には、税制上の優遇措置があります

○個人の寄付

寄付金額によっては、所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

○法人の寄付

株式会社などの法人の寄付は、全額損金扱いとなります。
※優遇措置の詳細につきましては、税務署にお尋ねください。

今年度もガチャ募金を実施します!

赤い羽根共同募金運動のPRとして、ガチャ募金を今年度も実施します。1回100円を入れると、尾張旭市キャラクターあさびーと赤い羽根共同募金のコラボ缶バッジや、赤い羽根共同募金マスコット「愛ちゃん」と「希望くん」のグッズなどが出てきます。売り上げは全額共同募金への寄付となります。楽しみながら地域福祉に貢献! イベントなどでみかけたときは、ぜひチャレンジしてくださいね!

缶バッジ
第2弾登場!



▲くるみボタン写真



▲缶バッジ写真

尾張旭市共同募金委員会では、今年も市内小・中学校の児童・生徒の皆さんから書道及びポスターを募集し、書道924点、ポスター346点の応募がありました。

そのうち、次の作品が尾張旭市文化協会会員の審査を経て、愛知県共同募金会への推薦作品に選ばれました。多数のご応募ありがとうございました。なお、推薦作品は愛知県共同募金会から返却され次第、尾張旭市保健福祉センターにて展示します。

書道の部(敬称略)



白鳳小学校 5年
篠 優美



旭丘小学校 5年
水谷 心



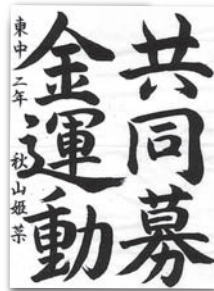
旭小学校 6年
若杉 莉緒



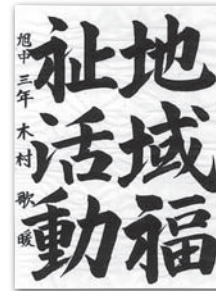
三郷小学校 6年
太田 礼美



西中学校 1年
宮崎 真央



東中学校 2年
秋山 姫菜



旭中学校 3年
木村 歌暖



三郷小学校 5年
安藤 海斗



渋川小学校 6年
横山 紅葉



城山小学校 3年
成瀬 桜



本地原小学校 6年
西片 夢優



白鳳小学校 6年
吉田 美海



西中学校 1年
内村 華恋



東中学校 2年
千村 美海

地域のサロン活動の 立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

サロン活動紹介①

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの「孤立」や「引きこもり」を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用した、地域の皆さんによる出合いの場づくりを支援します。

【東名西公園サロン】

(東名西町一丁目町内会)

平成29年9月に本事業を活用していただきました。



- ① 活動拠点 ② 活動日時 ③ 参加費
④ 会費 ⑤ 活動内容 ⑥ 目的・特色

- ① 東名西集会所
② 毎週土曜日(概ね午前9時～正午)
③ 無料 ④ なし
⑤ 各種ゲーム(マージャン・囲碁・将棋・オセロなどボードゲーム)やおしゃべりなどで自由に交流します。
⑥ 町内住民の自由参加により集会所を開放し、交流や体操教室を通して住民の繋がりがりや健康維持を目的として開催しています。

このサロンを通じて、高齢者の「孤立」や「引きこもり」の防止、会話や手足の運動による認知症予防や健康維持、「声掛け」や「あいさつ」による防犯、災害時の相互扶助など様々な効果を期待しています。

地域での支え合い活動やサロン活動の立ち上げを検討している団体・個人のかたは、お気軽にご相談ください。
お電話お待ちしております! 【問い合わせ先】TEL 55-7071 (星原・鶴見・吉川)

第6回

あさひ生活応援サポーター 養成講座を開催しました

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

令和元年6月9日、16日、23日の3回にわたり、新池交流館・ふらっとにて「あさひ生活応援サポーター養成講座」を開催しました。第6回開催では、市内在住の男女15人が修了され、新たに7人がサポーターに登録しました。受講者からは、「とても勉強になりました。受講してよかったです。」「地元の皆様のお役に立てればと思っています。」といった声が寄せられました。現在、55人が、あさひ生活応援サポーターとして高齢者の困りごとを手助けしています。

令和2年2月に第8回講座(受付は令和2年1月27日まで)を開催しますので、ぜひご参加ください。



▲南医療生活協同組合 松下さんのお話



▲カードを使った「助け合い体験ゲーム」を体験

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティアサロンのご案内



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動しておられるかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

〈11月・12月・令和2年1月のボランティアサロン〉

と き	11月13日(水) 午前10時～正午	12月12日(木) 午前10時～午前11時30分	令和2年1月10日(金) 午後1時～午後3時
と ころ	渋川福祉センター 集会室	渋川福祉センター ボランティア室	渋川福祉センター 集会室
内 容	まゆでつくる クリスマス飾り	和紙のくるみ絵づくり ～干支のミニ色紙～	切り絵 ～冬の風物詩～
講 師	木下 博子さん	水野 道子さん	福島 晴彦さん
定 員	先着6人	先着10人	先着10人

クッキングボランティア講座～家事場のちから～を開催します。



▲昨年度の講座(調理実習)の様子

住み慣れた尾張旭市で年をとっても安心して暮らしていけるよう、「クッキング」を通じて私たちができることを考えてみませんか。「クッキングボランティア」は、食事を通じて高齢者同士の交流や見守りに取り組むボランティアです。

講座では、シニア世代が気をつけたい食事について学び、お弁当の献立作成・調理実習を通じて、クッキングボランティアの活動を体験します。実際に活動しているボランティアと話ができる交流会も予定しています。ぜひご参加ください。

と き	令和2年1月10日(金)・24日(金)・31日(金) いずれも午前10時～正午		
と ころ	新池交流館・ふらっと 研修室・実習室		
内 容 ※原則 全日参加	第1回	講義「筋肉量を測ってみよう!～サルコペニアと栄養のお話～」 ※講座内で体成分分析装置による測定を行います。	
	第2回	グループ活動「お弁当でたんぱく質25gを目指そう!」	
	第3回	調理実習・交流会	
講師など	講師	名古屋学芸大学 管理栄養学部管理栄養学科 教授 塚原 ^{たかよし} 丘美 氏、助手 内田 かおり 氏	
	協力	本地ヶ原校区社会福祉推進協議会 ももの会	
定 員	先着20人	参加費	無 料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接		

ボランティア給食サービス 協力ボランティア募集中

心をこめた弁当を作り、ひとり暮らし高齢者宅へ宅配しませんか。利用者のかたは月に1度のボランティアとの会話をとても楽しみにしています。男性も活躍中です!

宅配だけのボランティアも募集していますので、お気軽に問い合わせください。

活動日時

- ①定例会 毎月15日(月により変更あり)午前10時から1時間程度
- ②宅配日 毎月第4月曜日(月により変更あり)午前9時～午後1時
- ③宅配のみ 毎月第4月曜日(月により変更あり)

申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会



▲心のこもった手作り弁当をお届けします♪

知るサポだより

No.18

～尾張旭市地域包括支援センター～

支援センター主催研修会開催



7月11日、一人ひとりのケアマネジャーが認知症のかたを介護されている家族の支援の大切さを理解し、日々認知症のかたと向き合っている家族の思いを受け止めて、適切な支援に繋げていけるようになることを目的に研修会を開催しました。テーマは「認知症の人の介護者支援」で、講師にはケアプランつゆくさ主任ケアマネジャーの恒川千尋氏(認知症の人と家族の会)をお迎えしました。

混乱している介護者の様子を寸劇で伝え、発表ではロールプレイングでケアマネジャー役になりきって、介護者に言葉がけをしました。寸劇やロールプレイングを取り入れたことで、とてもわかりやすかったと好評でした。

今後もより適切な支援を行えるような研修会を企画していきます。

第2回 あさひ介護者のつどい「弾んで!リフレッシュ!バランスボール」

第2回あさひ介護者のつどいを7月17日に開催しました。在宅で介護しているかた6人が参加されました。

講師の青山しのぶ氏とアシスタントの佐藤英美氏に、参加者の体格に合わせてバランスボールの空気を調整してもらい、基本姿勢を教えてもらってから教室がスタートし

ました。はじめは緊張していた参加者も、講師の元気な呼びかけと楽しいお話にリラックスした様子で、音楽に合わせて弾んだりストレッチをしたりして、リフレッシュすることができました。



第4回 あさひ介護者のつどいは、ケーキ教室を開催します。

- とき 11月26日(火)
午前10時～正午
- ところ 新池交流館・ふらっと実習室
- 講師 小野 善秀 氏
(ふらんす菓子屋エミリー)
- 定員 先着20人程度
- 参加費 500円
- 申込期間 10月15日(火)～
11月15日(金)
- 申し込み及び問い合わせ先
地域包括支援センター
TEL 55-0654

「ずいほうランチと買い物ツアー」を試験的に実施します

少子高齢化に伴う地域課題のひとつとして、買い物や通院など日常生活上の移動手段に困るという心配ごとがあります。

地域ケア会議・移動手段部会では、地域の中で助け合い支え合える仕組みづくりを模索しており、現在は地域の中にある社会資源を発掘しています。

TEL 55-0654(直通)

今回企画する「ずいほうランチと買い物ツアー」では、瑞鳳小学校区エリアのかたを対象としたモデルケースの実証実験として、地域の飲食店(台湾料理「萬来館」)とタイアップし、お店が所有する送迎車を活用することで、買い物先(イトーヨーカドー)までの買い物ツアーを試験的に実施します。また、今回の目玉企画として、買い物前にランチタイムを設定し、お得な「萬来館」特別ランチメニューを参加者同士で交流しながらお楽しみいただきます。

買い物ツアーの詳細内容に関しては地域包括支援センターまでお問合せください。移動手段への取り組みに関心があり、ご協力いただける個人・団体、企業等からのお問い合わせもお待ちしています。



高齢者の権利を守る「成年後見制度」

高齢者の権利を守るための「成年後見制度」をご存じでしょうか。

認知症などにより判断能力が低下すると、悪質な訪問販売の被害を受けたり、不動産や預貯金などの財産管理、病院や介護施設などの入所手続きがひとりではできなくなることがあります。「成年後見制度」は、そのことで不利益を被るおそれのある人を守るための制度です。判断能力に応じて家庭裁判所が後見人(保佐人、補助人)を選任します。

安心して老後生活を迎えるために、支援制度を知った上で元気なうちから準備をしておきましょう。

判断能力に不安のあるかたに『日常生活自立支援事業』がお手伝いします

○対象者

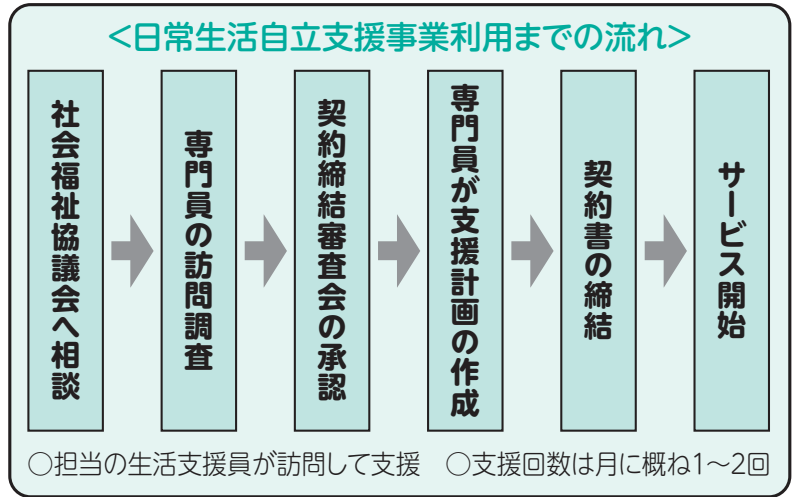
福祉サービスを利用しているまたは利用予定のかたで、かつ認知症、知的・精神障がいなどの理由で、契約などの判断をすることやお金の出し入れ・書類などの管理が不安なかた

○援助内容

- ①福祉サービスの利用支援
(利用料の支払い、手続きなど)
- ②日常的な金銭管理
(生活費の出し入れ、公共料金の支払いなど)
- ③通帳や印鑑などの預かり

○利用料 1回1,200円

(ただし、③の支援は月額250円)



○申し込み及び問い合わせ先 社会福祉協議会

「介護はとつぜんやってくる!!」家庭介護教室を開催します。



高齢者を介護されている家族などが、介護に関する知識や技術を学ぶとともに、介護者相互の交流を図り安心のある生活を支援することを目的に右表のとおり、家庭介護教室を実施します。

今年度のテーマは、「高齢者の体調チェックと急変時の対応」です。お気軽にお申し込みください。

と き	(1)11月 2日(土) 午後1時30分~午後3時30分 (2)11月17日(日) 午前10時~正午 (3)11月23日(土) 午後1時30分~午後3時30分
と ころ	(1)中央公民館 1階 102会議室 (2)渋川福祉センター 3階 研修室 (3)東部市民センター 1階 講習室
講 師	愛知医科大学 看護学部 准教授 荻野 朋子 氏 助 教 橋本 亜弓 氏
内 容	講義・演習
定 員	いずれの開催日も30人 (定員を超えた場合は、初回者優先とします。)
参 加 費	無 料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接

ボランティア給食サービス 利用者募集中!

本会ではボランティアグループくすの木会の協力で、ひとり暮らしの75歳以上のかたへ、月1回の手作り弁当のお昼の宅配と、年1回のふれあい昼食会を行っています。

現在、利用者を募集していますので、お気軽に申し込みください。

対象 市内在住のひとり暮らしで75歳以上のかた

8月の献立

- 鮭ちらし寿司
- にんじんの甘煮
- さつまいもの甘煮
- ピーマンの塩昆布和え
- バナナ



内容 月1回の昼食弁当の宅配と年1回のふれあい昼食会

費用 1食200円

申し込み及び問い合わせ先 社会福祉協議会

食品をご寄付いただきありがとうございました!

6月24日から29日まで実施しました「ご家庭に眠っている食品大募集(フードドライブ事業)」にご協力いただきありがとうございました。

6日間の募集期間で、たくさんの食品が集まりましたので感謝申し上げますとともに報告いたします。

ご寄付いただいた食品は7月1日にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。

集まった食品

合計372.7kg(米96.8kg、米以外275.9kg)

<提供いただいた食品の種類と点数>

食品の種類	点数(点)
米	14
缶詰	60
インスタント食品、レトルト食品	168
調味料各種	54
乾物(乾麺、海苔、豆など)	98
飲料(お茶、ジュース、コーヒーなど)	72
その他	126
合 計	592

次回は、令和元年12月16日(月)~12月21日(土)を予定しています。引き続きのご協力をお願いいたします。

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和元年度冬号(1月15日発行)に掲載の広告を募集します。

募集期限は、11月15日(金)までです。

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 **社会福祉協議会**
TEL 54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさと掲載することもできます。

社協だより夏号 掲載記事の訂正とお詫び

社協だより夏号(令和元年7月15日発行)に掲載の「寄付者一覧」の記事に誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

誤 尾張旭市ゴルフ協会 様
(大字新居町)

正 尾張旭市ゴルフ協会 様
(大字新居)

善意のご寄付ありがとうございました。

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。寄付金及び寄付物品は、ご意志に基づき有効に活用させていただきます。

■一般寄付

6月17日~9月5日 (順不同)

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
宮沢智子 陶&木彫展 様(新居町)	10,000
武内 榮子 様(南原山町)	7,000
尾張旭市ゴルフ協会 様(大字新居)	46,000
尾張旭ライオンズクラブ 様(東大道町)	10,000
尾張旭ロータリークラブ 様(東大道町)	10,000
名古屋ヤクルト販売株式会社 様(名古屋市)	42,009
匿名(5件)	347,388

■物品寄付

寄付者名/物品名	
収集グループ あさがお会 様(南新町)	切手72枚
イトーヨーカドー尾張旭店 様(南原山町)	雑貨43点
たいようの会 様(瀬戸川町)	ぞうきん52枚
武内 榮子 様(南原山町)	紙オムツ1袋、尿とりパッド1袋
株式会社セブン-イレブン・ジャパン 様(東京都)	雑貨38箱、食品20箱
杉原 海龍 様(北原山町)	紙オムツ3袋
匿名(8件)	紙オムツ54袋、尿とりパッド17袋、防水シート1袋

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

株式会社セブン-イレブン・ ジャパン様から ご寄付いただきました

8月23日に株式会社セブン-イレブン・ジャパン様から地域福祉の推進に役立てることを目的に改装時などに発生する在庫商品の一部を寄贈いただきました。これらの寄贈品は、地域福祉の推進に寄与する事業に活用させていただきます。株式会社セブン-イレブン・ジャパン様、本当にありがとうございました。



▲寄贈された商品

こんなとき、
こんなお金をぜひ、**社会福祉協議会**へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部 ○同窓会などの残金、各種チャリティーバザー

慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。